

## 東京芸術劇場 東京のはら表現部

### 第4期（2022年度）の活動

#### 定例ワークショップ

第4期は、3年ぶりに年間をとおして対面でワークショップを開催することができました。新しいメンバー8名を迎え、ダンサーとファシリテーション実習生合計16名で、5月から3月までに9回のワークショップを実施し、東京のはら表現部の表現のベースである「てあわせ」、メンバーが交互にファシリテーションしての身体表現などに加えて、2回の公演に向けた作品の創作も行いました。

#### 上野恩賜公園での野外パフォーマンス

猛暑が続いた7月初旬の夕刻に、公益財団法人東京都歴史文化財団が東京都とともに主催する「だれもが文化でつながる国際会議」のオープニング・イベントとして、上野恩賜公園 竹の台広場で野外パフォーマンスを実施しました。前半は、メンバーたちのファシリテーションによるダンスと、仲間どうしで心を合わせる「てあわせ」表現を行いました。キーボード・マリンバ・パーカッションの即興演奏で、メンバーたちの表現が一層躍動しました。後半は、のはらをイメージして小グループで創作した小品「はな」「うなぎ」「あおむし」「呼吸」と、全員での作品「そら」を披露。少しずつ夕闇が深まる広々とした公園で、小品に合わせたデザインのカラフルな衣装と照明が作品を引き立てました。エンディングは、リボンを使った「てあわせ」表現にたくさんの観客も加わり、一緒にのはらを味わいました。一人ひとりが今できる最大限の表現をしてこそ対等な場が生まれることを皆が信じて稽古に励みました。その成果を存分に発揮して、全員でパフォーマンスを楽しむことができました。



「だれもが文化でつながる国際会議」オープニング・イベントの野外パフォーマンス

#### 社会福祉施設でのアウトリーチ

ワークショップと並行して、第3期下半期に開始したアウトリーチを、今年度も延べ8回実施しました。3件の都内の社会福祉施設をファシリテーション実習生が訪れ、施設利用者の方々と一緒にワークショップを行いました。また、11月には都内の放課後等デイサービスの高校生たちを劇場に招き、東京のはら表現部メンバーとの合同ワークショップで交流を行いました。アウトリーチは、劇場に集うことが難しい人々と東京のはら表現部の表現を共有する機会であり、同時に、実習生がファシリテーションの実践を通じて研鑽を積む重要な場となっています。



アウトリーチ・ワークショップ



高校生との交流会

## ワークショップ見学&説明会

“のはら”のムーブメントが、劇場にとどまらず多くの地域に広く波及することを願って、12月に都内外の文化施設の職員の方々をワークショップ会場に招きました。てあわせ表現に参加していただいた後に、東京のはら表現部の経緯と活動概要について、メンバーたちの声を交えつつ紹介を行いました。誰にとっても居心地がよく、一人ひとりが個性を自由に発揮して、からだの内から湧き起こる自然な身体表現を楽しむ“のはら”のコンセプトを、文化施設の方々に体感し理解していただくことができました。

## オープンのはら Season 4

2023年2月5日に、1年間の活動の総括となる「オープンのはら Season 4」を開催しました。昨年度、一昨年度とオンラインでの開催が続きましたが、3年ぶりに、念願の東京芸術劇場の地下1階「ロアー広場」でのパフォーマンスが実現。デモンストレーションに続いて、小グループで創作した作品「納豆ごはん」「ペット」「うさぎたまご」と、全員での作品「そら」を上演しました。約120人の観客からあたたかい声援が送られ、行き交う人々も足を止めて鑑賞していました。

パフォーマンスに先立ち、1年間の活動を報告するトークセッションを開きました。メンバーを中心に、家族やスタッフも交えて順にマイクを握り、ワークショップ、アウトリーチ、野外パフォーマンスなどについて報告し、感想を述べ合いました。アウトリーチを行う社会福祉施設の代表者とファシリテーション実習生の修了者もゲストとして登壇。多くの来場者に、東京のはら表現部の理解を深めていただくことができました。



トークセッションの様子



グループで創作した小作品



「そら」

## 企業による支援

共生社会の実現を目指す東京のはら表現部の活動趣旨にご賛同いただき、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の役職員有志の方々と同社のマッチングによる、地域貢献・社会貢献を目的とした募金制度「ゆにぞんスマイルクラブ」の尊い募金から、ご寄附を賜りました（「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社より 東京のはら表現部へのご寄附のお礼とご報告」に詳細）。